

【松永 孝男 委員長のコメント】

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響で減収が見込まれる市税を補填し、飲食・観光など落込みの激しい事業者を支援するために約15億円を財政調整基金から繰り入れ、一般会計の当初予算額は457億3千万円となりました。

その当初予算の中には、プレミアム付商品券の再発行による景気浮揚策や、公共事業の前倒しによる平準化などが盛り込まれています。



▲松永孝男 予算審査特別委員長

会派が注目する令和3年度に予算化された事業

日本共産党 議員団	小学校校舎等整備事業 合計 4億 5787万円	小中学校で、トイレ全面改修が必要な校舎は48棟ある。これまでは、年1棟のペースで改修を進めてきたが、命に関わる耐震化工事と合わせて、令和3年度からは年2棟以上のペースを目標に計画する。トイレの質改善とともに切実な要望である。
富岳会	デマンド型乗合タクシー事業 (宮タク) 委託料 合計 1673万4千円	北部エリア、内房エリアから市街地までの直行や付き添いとして1人同乗できること等、宮タクの利便性向上に向けて実証実験が行われている。多くの市民の利用と意見で利用しやすい「宮タク」を作る。
令和	デマンド型乗合タクシー事業 (宮タク) 委託料 合計 1673万4千円	総務文教委員会の政策提言が取り入れられ、宮タクにおいて利用しやすい形(内房エリアや北部エリアからの直通便)の実証実験が行われるようになった。
公明会	結婚新生活支援事業 合計 1825万円	一般質問でも提案した新婚世帯への支援がいよいよスタートする。夫婦共に婚姻日の年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満(給与年収目安約550万円)で、婚姻した世帯の新生活に係る費用最大30万円(住居費・引越費用)を助成する事業。
蒼天	中小企業等実態調査事業 合計 900万円	中小企業振興基本条例の理念に基づき、市内の中小企業の経営環境、事業活動、雇用等の実態調査を5年ぶりに実施する。コロナ禍で苦境に立つ中小企業の支援策やアフターコロナに市内の中小企業が活性化する施策に結びつくことを期待する。
芙蓉	水門等管理事業 合計 2332万8千円	事業の中に老朽化した市街地の主要水門の改修工事費が含まれている。市内には約624の水門があり、毎年チェックされているが改修と修繕が必要な水門が増えている。 当市は河川が多いため治水管理が必要である。今後計画的に事業を実施していく必要がある。
至誠	体育施設整備事業 (山宮ふじざくら球技場 人工芝化設計業務) 合計 700万円	かねてよりの懸案事項であった、人工芝化により、サッカー場ほか球技スポーツに対応できる場所として、市民のスポーツ意識向上に大いに期待できる。